

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 国際学院中学校高等学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
 住所 〒362-0806
埼玉県北足立郡伊奈町小室10474
 E-mail : kghs@kgef.ac.jp
 Website : http://jsh.kgef.ac.jp
 児童生徒数：男子 510 名 女子 353 名 合計 863 名
 児童・生徒の年齢 13歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

本校では「国際理解学習」と「環境学習」に取り組んでいるが、平成 25 年度は共に新たな取り組みを行うことができた。

まず国際理解学習では、初めて同時期に複数の留学生を受け入れた。全員が 1 年間の長期留学であり、受け入れたクラスの生徒を中心として、お互いに有意義な交流とすることができた。

また、埼玉県観光課から依頼があり、台湾の高等学校からの修学旅行の受け入れを 3 度行うなど、海外の学校の受け入れも積極的におこなった。多くの生徒を受け入れ、バディを組み、英語や日本語を混ぜてコミュニケーションを図っていた姿は非常に印象的であり、補助生徒アンケートの回答においても、次回も補助生徒を務めたいという意見が大半であった。

例年行っている「世界異文化学習会」および「海外料理学習会」は、「第 4 回ユネスコスクール ESD アシストプロジェクト」の助成対象からはずれたものの、第 2 学年海外研修の事前学習として高い効果があった。前者では公益財団法人埼玉県国際交流協会より 9 か国の講師を招き、国際理解を深める機会となった。また後者では食物調理生徒を対象としてロシア料理について学習し、9 月の文化祭にて一般来場者に模擬店で一品として販売することで、学習成果を共有することにもつながった。

普段の授業とは異なった、「外国」や「異文化」を間近に感じることができるこういった取り組みは、生徒がコミュニケーションをとる楽しさを実感し、文化を学ぶことの大切さを知るために非常に有意義であった。今後も内容をさらに充実させていきたい。

一方環境学習では、これまでと同様に「エコキャップ運動」に取り組み、近隣地域の協力もあり、年間 20 万個以上のキャップを回収することができた。また新たにユニクロによる「服のチカラプロジェクト」にも参加し、ユネスコ部を中心に古着回収に取り組みした。約 1,400 着の古着を回収することができ、文化祭では一般の来場者から「ぜひ来年度も継続してほしい」との声ももらうなど、成果を実感することができた取り組みであった。

これらの成果を教員・生徒で共有し、ESD への意識を高めることができるよう、今後もさらに継続していきたい。

平成 25 年度の主な取り組み

年 月	活動内容
4 月	AFS 日本協会および文際交流協会よりそれぞれアメリカ・オーストラリア人留学生を 1 名ずつ受け入れる（2014 年 1 月末まで）。
4 月 16 日	埼玉県観光課による教育旅行誘致事業で、台湾国立鳳山高級中学より教員 2 名、生徒 32 名が来校し、本校生徒と交流を行った。
4 月 22 日	本校中学 1 年生および高校 2 年生が「世界一大きな授業 2013」に参加。
5 月 11 日	中学 1 年生 15 名が JICA を見学。

5月28日	埼玉県観光課による教育旅行誘致事業で、台湾国立豊原高級中学より教員2名、生徒33名来校。
5月23日	エコキャップ協会にペットボトルキャップ66,650個を送付。累計329,150個になる。
6月13日	海外研修の事前学習として「ロシア料理学習会」を実施し、公益財団法人埼玉県国際交流協会「地球市民育成事業」により講師2名を招へいし、ロシア料理を学んだ。食物調理コース生徒(1~3年)参加。
6月20日	「服のチカラプロジェクト」の一環で、ユニクロによる出張授業を実施。 子供服の回収を始める。
6月21日	埼玉県国際教育研究協議会「第21回英語・日本語スピーチコンテスト」の「国際教育実践発表」にて生徒会長が本校のESDについて発表。
7月	朝日新聞社、公益財団法人森林文化協会、公益社団法人国土緑化推進機構主催の、子どもたちが学校で育てた苗木を被災地に植樹する「緑のバトン運動」に本校中学1年生が参加。
7月16日	海外研修の事前学習として「世界異文化学習会」を実施し、公益財団法人埼玉県国際交流協会「地球市民育成事業」により講師10名を招へいし、世界のさまざまな地域の文化について学んだ。第2学年参加。
7月30日	伊奈町の町内回覧板を町内全区に配布(1354部)。子供服の古着回収を呼び掛ける。
7月30日	「ユネスコスクール世界大会」に応募(落選)。
8月24日	中学校体験入学としてユネスコ部体験授業を実施。(公財)埼玉県国際交流協会よりマレーシア人講師および韓国人講師を派遣。
8月25日	ユネスコ部員が伊奈まつり清掃ボランティアに参加。花火跡の清掃活動を行った。
9月	AYUSA International よりドイツ人留学生を1名受け入れる。(2014年6月末まで)
9月10日	エコキャップ協会にペットボトルキャップ90,300個を送付。累計419,450個になる。
9月	本校文化祭(五峯祭)にて「服のチカラプロジェクト」の古着回収コーナーを設け、ユネスコ部が子供服を回収した。約1,400着を回収。
10月11日	第2学年語学研修にて、カナダ先住民(ファーストネーションズ)講師によるビーズ細工作りに取り組む。第2学年生徒参加。

10月18日	「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議に向けたESD日本ユース・コンファレンス」に本校教員が応募。（落選）
10月28日～11月1日	インドネシアで行われた「第11回アジアヨーロッパクラスルームネットワーク会議（Asia-Europe Classroom Network Conference）」に本校校長および教員2名が参加。アジア・ヨーロッパで行われているICTベースの協働学習プログラムや、各校での環境学習の取組について学んだ。
11月9日、16日、30日	国際学院埼玉短期大学講師による伊奈町学校開放講座「日本のマナー講習」を開講した。一般から4名が参加し、ユネスコ部生徒が補助生徒を務めた。
12月	さいたまユネスコ協会「ネパール教育支援事業奨学支援プロジェクト」に参加し、本校中学生が9,000円を募金した。
12月1日	ユネスコスクール全国大会に本校教頭、第3学年主任、理科教諭が参加。
12月4日	エコキャップ協会にペットボトルキャップ68,800個を送付。累計488,250個になる。
12月11日	マッコーリー大学教授、シドニー大学教授、バンクーバーアイランド大学学長が、本校に来校し、本校生徒が学校説明などを行い、交流した。
1月24日	NPO法人さいたまユネスコ協会よりネパールの生徒が日本の支援者に送る手紙の翻訳ボランティアを依頼され、本校英語同好会が参加。
1月31日	第5回（2013年度）ユネスコスクールESDアシストプロジェクト助成金申請（国際理解・食育）
2月4日	エコキャップ協会にペットボトルキャップ64,500個を送付。累計552,750個になる。
2月19日	埼玉県観光課による教育旅行誘致事業で、台湾私立僑泰高級中学より教職員11名、生徒75名 計86名が来校し、本校生徒と交流を行った。
3月3日	第5回（2013年度）ユネスコスクールESDアシストプロジェクトへの助成が決定される。
3月30日～4月6日	パイオニア中等学校（シンガポール）主催の国際交流イベント「International Friendship Week 2014」に本校教員1名および生徒5名が参加。シンガポール、イタリア、インド、デンマーク、日本の5か国間で交流を行った。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）